

## 杉山卓 略歴

- 1947年 9月 東京帝国大学工学部電気工学科卒業  
1947年 10月 株式会社世田河電機製作所  
(現世田河電機株式会社 以下同社) 入社  
1973年 5月 同社 取締役  
1976年 6月 同社 常務取締役  
1979年 6月 同社 代表取締役専務  
1982年 4月 映画メディアカルシステム株式会社 代表取締役社長  
(現GEヘルステア・ジャパン株式会社)  
1988年 12月 同社 代表取締役会長  
1985年 2月 計測自動制御学会会長 (昭和60/61年度)  
1991年 6月 映画電機 技術最高顧問  
1999年 6月 同社 社友  
1997年 2月 NPOプロジェクトHOPPE ジャパン理事長  
1999年 4月 二層SOHOに杉山卓事務所を開設

### (学 歴)

東京大学工学博士 (アナログ精密計測)

### (受賞歴等)

- 1962年 10月 同書地方発明表彰「特賞」  
1971年 11月 同書地方発明表彰「科学技術庁長官賞」  
1972年 5月 全国発明表彰「内閣総理大臣賞」  
1974年 10月 東京都発明研究所賞  
1975年 11月 栄誉賞章  
1988年 2月 計測自動制御学会 名誉会員  
1992年 1月 田原会 Life Fellow  
1998年 11月 新潟等旭日小読者



## 〇〇さんと呼ぼう

人によっては先輩としての、または上役としての威厳を示すために〇〇君と呼ぶが、一方気分によっては〇〇さんと呼び、その使いわけは意外に微妙なニュアンスを含んでいる。

一心に働き続けを受けて自覚している以上、各人は同じ誇りをもっており、年齢・地位・職業によって呼び方に差別されるべきではない。

欧米ではタクシーの運転手から大統領まで一般にはMr.で呼ばれ、差別はない。アメリカではファーストネームで呼び合う習慣もあるが、これはけっして人を軽んじたり、蔑びたりするものではなく、親しみを示す表現にすぎない。

日本人の使う〇〇さんは男女の区別もなく、親しみやすい呼び方であるので、次のように単純なルールの下で呼び合ったらいいかがであろう。

1. 未成年者以外はすべて〇〇さんと呼ぶよう勧める。
2. 今まで△△課長、××主任と呼ばれていた人が部下から△△さんと呼ばれても気を悪くしない(公式の場は除く。)
3. 先輩や部下に対し〇〇君と呼んでいたのを、固くせずに〇〇さんと呼ぶよう努力する。

私は、休日外部の方と一緒にゴルフをする場合、「〇〇銀行の××副課長です」と紹介されても、最初「プレー中は××さんと呼ばさせていただきます」と断っている。実はこの頃記憶力が弱くなって役職名まで覚えられないことがあるからである。

少なくともゴルフ場で大きな声で「社長! またOBですよ!」というのは今日からでもやめてもらいたいと思っている。

(本人著書「企業文化の醸成」より)